

環境活動レポート

【平成28年度版】

- 住所 愛媛県今治市南大門町4-5-1
- 会社名 西染工株式会社
- 代表者名 山本 敏明
- 平成29年 4月26日

【 組織の概要 】

1. 会社名及び代表者名

西染工 株式会社

代表取締役 山本 敏明

法人設立年月日 昭和43年11月

2. 所在地

〒794-0027 愛媛県今治市南大門町4-5-1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 山本正文

TEL 0898-22-2588

FAX 0898-23-8478

E-mail syoene@nishisenko.jp

4. 事業の概要

繊維製品企画製造販売

染色加工

平成28年 4月1日～平成29年 3月31日

生産量 2,573 t (染色加工品 糸 反物)

機能加工一覧

抗菌 防臭加工

暖 涼感加工

保湿加工

芳香加工

UVカット加工

皮脂 汗吸収加工

花粉付着防止加工

防火加工

撥水 撥油加工

<染まるものは何でも染めてみる> がモットーである。

天候や湿度に左右されやすく、それぞれに強い癖を持つ天然素材を、均一な品質で大量に染め上げる技術は高い評価をうけている。

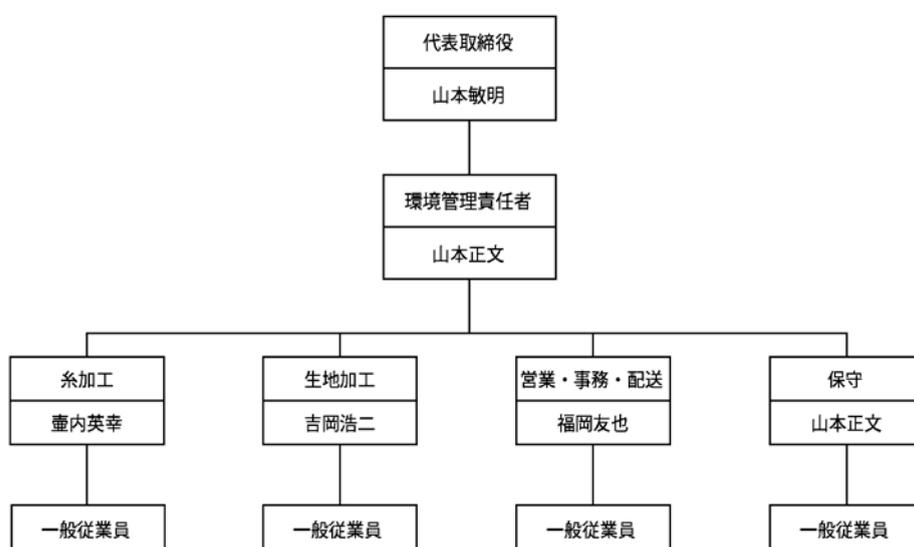
地球環境に優しいオーガニック製品の認証など様々な認証を取得しています。

5. 事業の規模

売上高 7億7200万円/年 平成28年8月期
生産量(重量) 2573t/平成28年度
従業員数 60名
延べ床面積 6600 m²
資本金 1000万円

6. 組織図

環境管理組織図



【 認証・登録の対象範囲 】

1. 対象範囲・・・全組織・全活動
2. 対象期間・・・H28・4・1～H29・3・31

組織の役割・責任・権限

| 職 位 | |
|-------------|---|
| 社長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の最高責任者かつ環境経営システムに関する全ての責任 ・ 緊急事態発生時の社内全体の総指揮を執る ・ 法定管理者、主任者の選任 ・ 当社の環境方針の制定、見直し ・ 環境目標（中期・単年度目標）及び環境活動計画の承認と運用実施の評価 ・ 環境活動レポートの承認 ・ 環境経営システムの見直しを毎年10月に実施し必要な指示を行なう |
| 環境管理 責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001 2 1 環境経営システム・環境活動レポートの規格に基づく確立、実行、維持 ・ 環境目標・環境活動計画の進捗・達成状況の確認 ・ 環境経営システムの改善についての審議の開催 ・ 環境方針・環境目標・環境活動計画の周知 ・ 環境負荷の特定及び環境への取組みの決定 ・ EA21 に関する書類の作成 ・ 環境経営システムの実施状況を社長へ報告 ・ 不適合事項の是正処置及び予防処置結果を社長へ報告 ・ 経営者による見直しに必要な情報の提供 |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの実施運用に対する責任と権限 ・ 環境活動目標に従い、部門内への周知と、環境方針の展開指導を行う。 ・ 活動の実績結果を環境管理責任者に報告する。 |
| 従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針を理解し継続的な改善活動に努める。 ・ 取り決め事項を順守し自主的・積極的に環境活動を実施。 |

【 環境方針 】

西染工株式会社は企業活動において環境保全に関する法規制等を遵守することはもとより、必要な行動基準に基づき環境に与える影響を減らすことに努めます。

- 1 環境負荷を特定し、環境目標を設定し、定期的に見直しを行い継続的な環境経営システムの改善に努めます
- 2 事業活動に関わるあらゆる法規制と、その他要求事項を遵守します。
- 3 設備機械、所有車両等の適正管理を行い事故防止に努めます。
- 4 事業活動に伴う環境影響を考慮し、以下の項目について環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ①省エネルギー
 - ②省資源
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 排水量の削減
 - (4) 化学物質の使用は認められません。
 - (5) 環境への取り組みを積極的に推進する。
 - ①事務用品等可能な品目のグリーン購入の推進
 - ②環境に配慮した製品を生産又は販売する。
 - (6) 環境教育の推進
 - ①環境意識向上のため環境教育を展開し、全構成員に周知啓蒙する
- 5 環境啓発活動と環境改善の実施を継続的に行う。
 - (1) 従業員にこの環境方針を周知するとともに、求められれば一般に公開します
 - (2) 環境活動レポートを広く公表し、社内外に対して情報の提供を行う

作成日 平成27年 2月28日

西染工株式会社

代表取締役 山本 敏明

環境目標

作成年月日：平成 29 年 4 月 10 日

山本 正文

今後、製品出荷量当たりの二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量および排水量を着実に減らして行くことをめざし、2015 年度から 2017 年度までの 3 年間は毎年基準値の 1% づつ低減させることを当面の目標とする。当社における環境目標と実績は次のとおりです。尚、2014 年の値を基準値とした。

| 項目 | 年度 | 2014 年 | 2015 年度 | 2016 年度 | | 2017 年度 | |
|--------------|------------------------|----------------------------------|-----------------|---------------|---------|---------------|-------|
| | | の値 (基準値) | 4 月～3 月 (実績) | 4～3 月 (目標) | (実績) | 4～3 月 (目標) | |
| 製品 出荷量 | 総量(トン/年) | 2,476 | 2,540 | | 2,573 | - | |
| | CO ₂ 排出量 | 総量(kg-CO ₂ /年) | 5,548 | 5,549 | | 5,595 | - |
| | | 製品出荷量当たり | 2.24 | 2.18 | 2.20 | 2.17 | 2.173 |
| | | 削減率 (%) | - | 3 % | | 1% | 3% |
| 廃棄物 排出量 | 総量(トン/年) | 17.50 | 17.20 | | 16.2 | | |
| | | 製品出荷量当たり (kg/トン) | 7.07 | 6.77 | 6.93 | 6.30 | 6.86 |
| | | 削減率 (%) | - | 4% | | 10% | 3% |
| 総排水量 | 総量 (m ³ /年) | 295,000 | 279,600 | | 282,926 | | |
| | | 製品出荷量当たり (m ³ /トン) | 119 | 110 | 117 | 110 | 116 |
| | | 削減率 (%) | - | 8% | | 6% | 3% |
| 化学物質 | | 化学物質が使用されていない事を確認する。 | | | | | |
| グリーン 購入 | グリーン化率 (%) | 不明 | 96.8 | 5 | 5 | 10 | |
| 製品・サービスの環境配慮 | | 環境に配慮した製品を生産、販売する。 | | | | | |

注① グリーン化率は事務用品・事務機器・現場用ポリ袋等、事務所で調達する物品を対象としてエコ商品の購入金額の割合で示す。

- ② 2015 年度のグリーン化率が大きいのは 1F 事務所のリフォームに伴う事務機器（消費電力を抑制したパソコン等）・事務用品をエコ商品にし金額比率が多くなった為。
- ③ 2014 年度の総排水量は集計ミスがあり訂正しました。

【 環境活動計画 】

作成日：平成28年2月28日 山本 正文

1 二酸化炭素排出量の削減

- 1) エコドライブの励行
- 2) エアコン温度設定の適正化 夏は28℃、冬は20℃
- 3) 蒸気配管の保温、漏れの点検と補修
- 4) 空気圧縮機の設定圧の適正化
- 5) 高効率照明器具への更新
- 6) エアー漏れの点検と補修
- 7) 不要時の消灯

2 水の効率的利用

- 1) 漏水を定期的に点検
- 2) バルブの調整により水量の調節を図る

3 廃棄物の分別

- 1) 可燃物、不燃物、粗大ごみ等の分別
- 2) 廃棄置き場の整理整頓

4 大気汚染の抑制

- 1) 燃焼管理及びばい煙等の監視及び測定

5 排水処理の管理

- 1) 排水等の監視及び測定を定期的に行い管理する
- 2) 排水処理施設の適切な管理を行う

6 社会貢献

- 1) 工場周辺の清掃活動を行う

【 環境目標の実績 】

評価基準は、目標以上:◎、目標通り:○、目標以下:△とする。

1.CO₂の削減

① 都市ガス・軽油・ガソリン使用量の削減

| 環境活動の取組計画の内容 | 評価 | 環境活動の取組計画の評価 |
|---------------|----|---|
| ボイラーの蒸気圧力の適正化 | ○ | 生産状況に合わせて圧力を適正にし、生産効率をあげている。 |
| 蒸気配管の保温、漏れの点検 | ○ | 蒸気漏れ、保温不良箇所は早急に補修しエネルギーロスを最小限にしている。 |
| エコドライブの励行 | ○ | スロー発進で、走行中は無駄なアクセルワークをなくして燃料削減に取り組んでいる。 |
| | | |
| | | |
| | | |

② 電気使用量の削減

| 環境活動の取組計画の内容 | 評価 | 環境活動の取組計画の評価 |
|------------------------------|----|------------------------|
| 空気圧縮機の設定圧力の適正化 | ◎ | インバーター運転で使用電力量が減少している。 |
| 不要時の消灯 | ◎ | 休憩中、未使用時は消灯を徹底している。 |
| エアコンの温度設定の適正化 夏:28℃ 冬:20℃ | ○ | 使用時間を決めて適切に運転をしている。 |
| エアー配管の漏れの点検 | ○ | エアー漏れは早期に発見し早急に補修する。 |

四国電力 CO₂ 実排出係数は0.000651を使用。

2. 廃棄物排出量の削減

| 環境活動の取組計画の内容 | 評価 | 環境活動の取組計画の評価 |
|--------------|----|-----------------------------------|
| リサイクルを行う | ○ | 再利用できる物（段ボール、ビニールシート等）はリサイクルしている。 |
| 無駄な物を出さない。 | ○ | 染料、薬品等計量ミスを起こさないように数値の再確認をしている。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3. 排水量の削減

| 環境活動の取組計画の内容 | 評価 | 環境活動の取組計画の評価 |
|--------------|----|---------------------|
| 適正な給水量で加工する。 | ◎ | バルブ調整で適正な水量で加工している。 |
| 節水を心がける。 | ◎ | バッチ水洗を心がけている。 |
| | | |
| | | |
| | | |

【 環境活動の取組計画の内容と評価のまとめ、次年度の取組 】

- CO₂の削減 電力及び化石燃料使用量の削減 エネルギー
使用量前年度比 99.9%であるが製品出荷量は 33 t 増。
- 廃棄物排出量の削減 再利用できるものはリサイクルし、廃棄物最終処分量の削減をす
る。段ボールの大半は再利用し、使用できないものはリサイクル品（古紙回収）としてい
る。
- 排水量の削減 節水を心がける。
バルブの調整により水量の調節を図る。
流水洗いを出来る限りバッチ洗いで行うことで水の使用量を削減する。
- その他の状況 工場内廃棄物置き場の整理
と清掃をした。
(前後の写真を掲載)

清掃前



分別仕切り板設置



次年度の取組内容

- CO₂の削減 ボイラー及び空気圧縮機の設定圧力の適正化をはかり、蒸気配管の保温や漏れ、またエ
アー配管の 漏れは発見しだい補修をしエネルギーロスをなくす。不要時の照明は消灯する。
- 廃棄物排出量の削減 無駄なごみは出さない、再利用できるものはリ
サイクルへ回す。
- 排水量の削減 適正な給水量で加工し、節水
に努める。
- 廃棄物置き場は常に整理整頓しておく。

【 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 】

※別表参照

【 代表者による全体の評価と見直し 】

以下に示す通り代表者による全体の評価と見直しを実施しました。今後とも環境改善活動への参加を期待します。

- 、エコアクション21全体への取り組み状況 二酸化炭素削減を実行するために、省エネ機器への更新を進めています。社内組織を明確にし、環境意識の徹底を図る。環境方針の取り組みは適切に行われており、特に見直す必要はない。環境目標は、見直す必要はない。環境経営システムは有効に機能しており、見直しの必要はない。
- 、環境方針、環境目標、環境活動計画、EA21プログラムシートについて 各項目について目標が達成できるよう改善を行っていく。
- 、評価のまとめと今後の取り組み

エネルギー使用量（都市ガス、電気等）は対前年度比 99.9%と同数量である。

蒸気圧力、エア圧力の適正化、配管からの漏れ等を無くしエネルギー使用量の削減に努める。

今後も、省エネルギー化やエネルギーロス無くして二酸化炭素排出量の削減につとめ、環境にやさしい企業を目指していきます

| 様式一 | | | | | | 環境管理責任者 | | |
|---|--|---|---|----------|------------------|-----------------------|-----------|------------|
| 関連法規一覧 | | | | | | 社 長 | | |
| | | | | | | 順法制確認 | 最新版確認 | |
| 環境管理責任者は、法改正等があった場合にはその最新版を「法令データ提供システム(総務省ホームページ)」や関係団体からの配布書類・講習会 | | | | | | 平成27年7月1日 | 平成27年7月8日 | 平成29年4月10日 |
| 等から確認して下記一覧表を見直し、必要があれば改定する。許認可申請、各種届出等を行った場合も同様とする。毎年1月に最新版の確認を行い、また | | | | | | 山本 敏明 | 山本 正文 | 山本 正文 |
| 毎年2月にその遵守状況を確認し、社長の承認を得て記録として保存する。 | | | | | | | | |
| 法 律 名 | 当社の適用項目・適用施設 | 法規制の主な内容 (許可・届出・国家資格等) | 主な規則・条例の内容 | 遵守 評価 | 改 正 事 項 | 対 応 の 要 否 | 備 考 | |
| 瀬戸内海環境保全特別処置法 第5条 | 繊維製品製造業 若しくは加工業の用に供する施設 | 愛媛県知事へ届け出 | 公共水域への排水基準の順守 | ○ | | | | |
| 大気汚染防止法 第6条第1項 | ばい煙発生施設 | 愛媛県今治保健所長の許可 | 排出基準の順守 | ○ | | | | |
| 水質汚濁防止法 | 1日排出量1500m ³ 以下の事業所 | 水質関係第4種公害防止管理者 愛媛県知事へ届け出 | PH: 5.8~8.6、 COD: 1日平均90ppm 、窒素: 60ppmリン: 8ppm等 | ○ | | | | |
| 省エネルギー法 | 第2種エネルギー管理指定工場、原油換算1500KL/年以上 | エネルギー管理(管理統括者の選任 エネルギー管理企画推進者の選任 定期報告書・中長期計画書の年次提出) | 管理員の選任 電気、各種燃料からの報告 削減手法の検討 | ○ | | | | |
| グリーン購入法 | 当社は法規制は受けていないが同規模の会社は参加している。又、イアアクション21は求めている。 | 企業が物品を購入するとき、環境に易しいと認定された物品を優先購入する。 | 事務用品のカタログに記載されている。 | △ | | | | |
| 廃棄物処理法 | 廃棄物を出す全ての企業 廃棄物を運搬処理する企業 | 廃棄物の適正分類、再資源化 マニフェストの適正運用 | 最終廃棄(埋め立て)焼却、再資源化等の重量の管理 | ○ | | | | |
| 消防法 | 防火対象物 | 消防計画作成届出書 防火管理者選任届出書 | 消防訓練(消火 通報 避難) 年1回実施 | ○ | | | | |

| 法律名 | 当社の適用項目・適用施設 | 法規制の主な内容 (許可・届出・国家資格等) | 主な規則・条例の内容 | 遵守 評価 | 改正 事項 | 対応 の要 否 | 備考 |
|--------------------|---|---|------------------------------------|----------|----------|---------------|----|
| ボイラー及び圧力容器 安全規則 | 炉筒煙管ボイラー 5t/h×2台 伝熱面積 61.46 m ² 最高使用圧力 0.98MPa | 設置時の届け出 検査証の掲示、 ボイラー取扱作業主任者の 選任、 毎月の自主検査の記録 | ボイラー性能検査の実施 ボイラー検査証の有効期間 は1年 | ○ | | | |
| 労働安全衛生法 | 事業全般 | 安全衛生管理者 | 労働者50人以上 | ○ | | | |
| | | | 定期健康診断（1年以内 毎） | ○ | | | |
| | 玉掛け | | 技能講習 | ○ | | | |
| | フォークリフト | | 技能講習 特定自主検査 | ○ | | | |
| フロン排出抑制法 | 業務用エアコン | 電動機の定格出力7.5kw 未満 | 簡易点検 3ヶ月に1回以 上 | △ | | | |

環境関連法規の違反等はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟等は過去3年間ありません。